

全苗連だより

Vol. 78 (12月号)

令和2年12月23日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和3年度林野庁予算の概算決定の概要

森林整備事業(林野公共予算)は、1,248億円(経常分)(対前年度比102.1%) + 2年度補正追加額(TPP等対策、防災・減災)496億円で1,744億円(142.6%)で決定。

非公共事業は1.275億円(118.6%)となり、林業・木材産業成長産業化促進対策を推進する中で、コンテナ苗生産施設や幼苗生産高度化施設等の整備に取り組むことが決定。

政府は12月21日の閣議で、令和3年度予算について概算決定しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、4月に第一次補正予算、6月に第二次補正予算が生まれ、令和3年度予算要求は例年より1ヶ月遅れの9月30日に(概要は全苗連だより10月号参照)行われるなど異例な展開となりました。林野庁予算概算決定の概要をお知らせします。

種苗関連予算については、公共事業、非公共事業とも令和2年度予算内容を基本的に踏襲したものとなっています。

まず森林整備事業予算(公共事業)については、来年度当初予算が一般会計で1,248億円(対前年度比102.1%)となっています。2年度補正増加額(TPP等対策、防災・減災)496億円を合すると1,744億円となり対前年度比142.6%となっています。森林整備事業はカーボン・ニュートラル及びグリーン社会の実現に向けて、温室効果ガスの吸収源となる森林資源を適切に管理し、国土強靱化や林業の成長産業化等にも貢献するため、**主伐後の再造林等を推進**することになります。

予算の重点事項のテーマは『林業の成長産業化と「林業イノベーション」の推進』となっており、主要な種苗生産に係る支援措置は以下のとおりです。

「林業成長産業化総合対策」の中に「林業・木材産業成長産業化促進対策」があり、令和2年度に引き続き**コンテナ苗生産施設や幼苗生産高度化施設等の整備**に対する支援の枠組みが位置づけられました。特に、「コンテナ苗幼苗生産高度化施設の普及」には、**種子選別機や環境制御室等の導入**がメニュー化されていますので、従来の「個々の苗木生産者が種子から苗木を作る」体制に加え、「発芽から幼苗までを協同組合組織等が担い、その後の育苗を生産者が行う」分業を推進し、効率的な種苗生産システムを構築することが期待されています。

「林業成長産業化総合対策」の中には、もう一つの柱である「林業イノベーション推進総合対策(拡充)」がありますが、種苗生産に係るものとして「**早生樹等優良種苗生産推進対策**」【128(129)百万円】が令和

2年度に引き続き要求されました（別添）。具体的には、造林コストの早期回収が期待できる早生樹やエリートツリーの普及を加速するため、種穂の採取源の充実とともに苗木の生産技術の向上を図ることで、優良苗木の供給拡大を進めることとしています。

林業イノベーション推進総合対策のうち

早生樹等優良種苗生産推進対策（拡充）

【令和3年度予算概算決定額：128,008 千円（128,824 千円）】

造林コストの早期回収が期待できる早生樹やエリートツリーの普及を加速するため、種穂の採取源の充実もに苗木の生産技術の向上を図ることで、優良苗木の供給拡大を進める。



◎ 都道府県等の原種増産施設等の整備（拡充）

成長に優れた特定母樹等の種穂を早急に供給するため、採種園等の造成に必要な原種苗木の増殖や効率的に種穂の採取を行うことができる施設等の整備

植物工場で短時間で大量の増殖（拡充） → 増殖した原種苗木を採種園の造成に活用 → 機械の導入による効率的な種穂の採取（拡充）

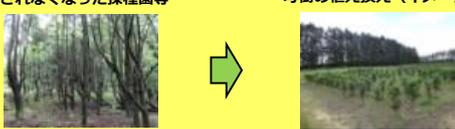


◎ 国有林内の採種園等の再活（拡充）

成長に優れた特定母樹等の種穂を早急に供給するため、国有林内の採種園等を再活用

- 採種園等に現存する母樹の種穂を再供給可能とするための園内整備
- 採種園等の母樹更新の対象に特定母樹等を追加
- 人工造林地を種木の採取源として活用するための条件整備

利用されなくなった採種園等 → 母樹の植え換え（イメージ）



新型コロナウイルス感染症への対応について

・「イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置」、
「事業継続に関する基本的なガイドライン」等の情報は、全苗連HPにUPしてあります

「忘年会・新年会・成人式等及び帰省について」、「林業経営体における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」、「イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置」などの新型コロナウイルス感染症対策本部からの連絡事項等につきましては、情報があり次第速やかに全苗連 HPのインフォメーション並びに会員向けページにUPしてまいりますので、そちらをご確認願います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により種苗の生産等に支障が出る等があった場合は、速やかに全苗連までご連絡をお願いします。

全苗連・苗組の行事予定

R2.5.1～R3.3.31

令和2年度研修(苗木生産技術の向上等事業)【全苗連HP“研修予定表”参照】

令和3年

1月19日 森林総合研究所林木育種センター研究成果報告会(web)

1月28日 第2回当年生苗導入調査委託事業検討委員会(日本森林技術協会)

2月16日 第2回中央需給調整協議会(林野庁)

2月中旬(調整中)

第3回コンテナ苗生産技術等標準化に向けた調査委託事業検討委員会(日本森林技術協会)

9月2日～3日

第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)